

「小規模多機能ホーム推進セミナー in 静岡」

開催要綱

【趣 旨】

要介護状態となっても、これまで培ってきた隣近所や地域商店街などとの地域関係や、家族や友人などとの人間関係をたいせつにしながら、「日常の暮らしを継続したい」という高齢者の願いを実現するためには、多機能化されたサービスを連続的に提供することが求められています。

その実践は「宅老所」において先駆的に取り組まれてきたもので、特に痴呆性高齢者の地域ケアの未来像として注目を浴びています。

こうした宅老所は、「地域密着・小規模多機能ホーム」とも呼ばれ、通って（デイサービス）泊まって（ショートステイ）家にも来てくれて（ホームヘルプ）いざとなったら住むことができる（居住・グループホーム）機能を、一つの住宅に併せ持つものが一般的です。

今回のセミナーでは、「地域密着・小規模多機能ホーム」の実践を紐解きながら、その意味を明らかにし、小規模多機能ホームの普遍化の可能性を探るとともに、その推進を目指して実施するものです。

【日 時】 2002年10月12(土) 10:30～16:20

【会 場】 静岡県女性総合センターあざれあ大ホール(JR静岡駅より徒歩3分)

【主 催】 宅老所・グループホーム全国ネットワーク/静岡県宅老所・グループホーム連絡協議会

【共 催】 特養・老健・医療施設ユニットケア研究会

【定 員】 350人

【参加費】 4,000円

【申込方法】 プログラム下の申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたは郵送にて下記事務局までお申込ください。なお、昼食希望も合わせてお申込ください。申込用紙を受け取りましたら、3日以内に受領確認及び参加費支払い方法のFAXを返信させていただきます。その後参加費の確認が出来次第参加申込書を送付いたします。なお、3日以内に返信なき場合はご連絡ください。

【内容に関するお問い合わせ】 宅老所・グループホーム全国ネットワーク

〒981-0954 宮城県仙台市青葉区川平 5-3-18-207 TEL:022-719-9248 FAX:022-719-9251

E-Mail: takurousyo_net@clc-japan.com URL: <http://www.clc-japan.com/>

【内容】 10月12日(土)

時 間	内 容
10:30 ~ 10:40	開 会
10:40 ~ 12:10	基調鼎談 「小規模多機能ホームの実践とその意味」 鼎談者 きなっせ(熊本県) 代 表 川 原 秀 夫 季刊痴呆性老人研究 編 集 長 泉 田 照 雄 東北福祉大学総合福祉学部 教 授 高 橋 誠 一
12:10 ~ 13:00	昼 食 ・ 休 憩
13:00 ~ 14:30	実践報告リレー 実践報告者 せんだんの杜なかやま(宮城県) せんだんの杜中山地域サービス部 在宅支援課長 秋 元 かおり 託老はうす おざいしよ(静岡県) 代 表 安 達 美由紀 今井あんきの家(愛知県) 代 表 村 田 恵 子 コーディネーター 静岡精華短期大学 助教授 平 田 厚
14:30 ~ 14:45	休 憩
14:45 ~ 16:15	まとめのディスカッション「小規模多機能ホームの可能性を探る」 パネラー 静岡県宅老所・グループホーム連絡協議会 西 谷 祐 一 宅老所・グループホーム全国ネットワーク 代表世話人 高 木 敏 江 静岡市保健福祉部介護保険課 課長補佐兼管理係長 望 月 秀 樹 厚生労働省大臣官房 広報室長 樽 見 英 樹 コーディネーター 日本福祉大学社会福祉学部 教 授 平 野 隆 之
16:15 ~ 16:20	閉 会

「小規模多機能ホーム推進セミナーin 静岡」申込書

FAX: 022-719-9251

所 属 連絡先	所 属 : TEL : () FAX : ()	
住 所	〒	昼食弁当 1000 円お茶付 個申込
参加者 氏 名		